

アイソレーションアンプ 20 シリーズ		
取扱説明書	電流出力対応、3ポート絶縁 アイソレーションアンプ	形式
		20VS5-301

ご使用いただく前に

このたびは、弊社の製品をお買い上げいただき誠にありがとうございます。本器をご使用いただく前に、下記事項をご確認下さい。

■梱包内容を確認して下さい

・本体.....1台

■形式を確認して下さい

お手元の製品がご注文された形式かどうか、スペック表示で形式と仕様を確認して下さい。

■取扱説明書の記載内容について

本取扱説明書は本器の取扱い方法、外部結線および簡単な保守方法について記載したものです。

ご注意事項

●供給電源

- ・許容電圧範囲、消費電流
定格電圧 12 V DC \pm 10 %、70 mA 以下 (20 mA 出力時)
- ・電源ラインにスパイク状のノイズなどがある場合は、適切なコンデンサとインダクタでフィルタを組んで下さい。

●設置について

- ・屋内でご使用下さい。
- ・塵埃、金属粉などの多いところでは、防塵設計のきょう体に収納し、放熱対策を施して下さい。
- ・振動、衝撃は故障の原因となることがあるため極力避けて下さい。
- ・周囲温度が -10 \sim +70 $^{\circ}$ C を超えるような場所、周囲湿度が 30 \sim 90 % RH を超えるような場所や結露するような場所でのご使用は、寿命・動作に影響しますので避けて下さい。

●配線について

- ・配線は、ノイズ発生源 (リレー駆動線、高周波ラインなど) の近くに設置しないで下さい。
- ・ノイズが重畳している配線と共に結束したり、同一ダクト内に収納することは避けて下さい。

●取付について

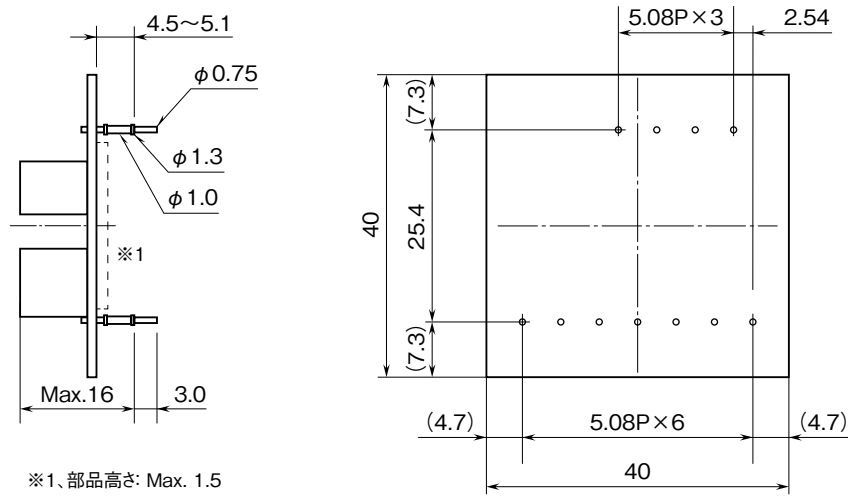
- ・プリント基板に取付ける場合は、ランド径 ϕ 1.5、スルーホール ϕ 0.9 の穴を推奨します。
- ・本器の基板下には、部品およびパターンを配置しないで下さい。

●その他

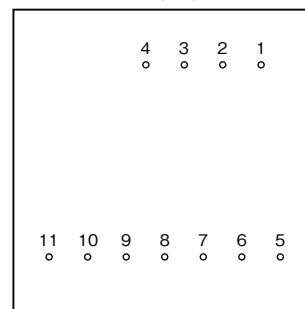
- ・本器は電源投入と同時に動作しますが、すべての性能を満足するには 10 分の通電が必要です。
- ・出力端子間を長時間短絡することは避けて下さい。破損することはありませんが、発熱によって寿命を縮める恐れがあります。

接 続

外形寸法図 (単位: mm) ・ 端子番号図

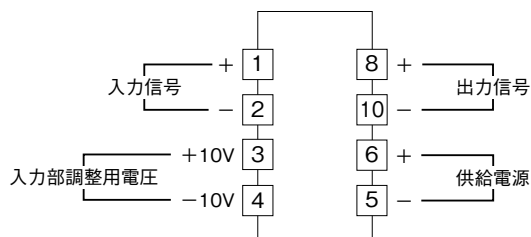


ピン配列



(BOTTOM VIEW)

端子接続図



回路事例

$$I_o = 20 \text{ k} \Omega / (R_1 + VR_1) \times (V_{in} / 120 \Omega)$$

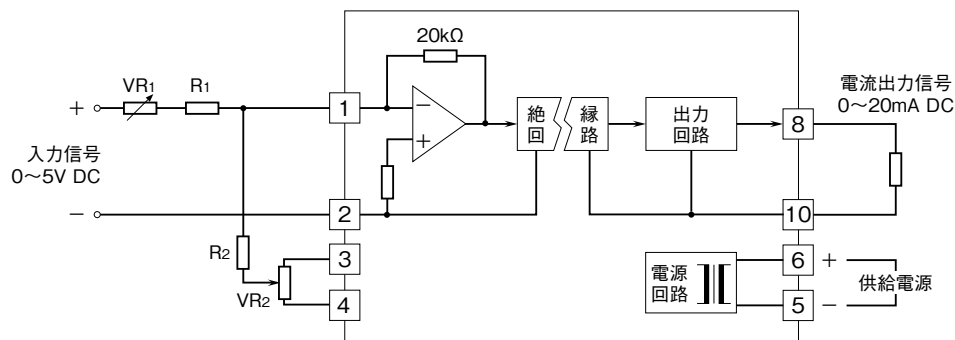
R_2 : 約 2 M Ω 、 VR_2 : 50 k Ω

$R_1 + VR_1 = 41.6 \text{ k} \Omega$ 時入力 5 V にて出力 20 mA

$R_1 + VR_1 = 20.8 \text{ k} \Omega$ 時入力 2.5 V にて出力 20 mA

R_1 、 R_2 の抵抗温度係数は $\pm 20 \sim 50 \text{ ppm}/^\circ\text{C}$ 程度、許容差 $\pm 1\%$ 程度

VR_1 、 VR_2 の抵抗温度係数は $\pm 100 \text{ ppm}/^\circ\text{C}$ 程度



点検

- ①端子接続図に従って結線がされていますか。
- ②供給電源の電圧は正常ですか。
- ③入力信号は正常ですか。
入力値が 0 ~ 100 % の範囲内であれば正常です。
- ④出力信号は正常ですか。
負荷抵抗値が許容負荷抵抗を満足するか確認して下さい。

保証

本器は、厳密な社内検査を経て出荷されておりますが、万一製造上の不備による故障、または輸送中の事故、出荷後 3 年以内正常な使用状態における故障の際は、ご返送いただければ交換品を発送します。

保守

定期校正時は下記の要領で行って下さい。

■校正

10 分以上通電した後、入力信号を 0、25、50、75、100 % 順で本器に与えます。このとき出力信号がそれぞれ 0、25、50、75、100 % であり、規定の精度定格範囲内であることを確認して下さい。